

ご来場のお客様へのお願い

- 入場時の手指のアルコール消毒にご協力ください。
- 公演中も含め館内ではマスクを着用いただき、咳エチケットにご協力ください。
- 熱のある方(37.5℃以上)、体調のすぐれない方は来場を控えてください。
- 入場時の検温にご協力ください。体温の高い方には入場をお断りいたします。
- チケットに記載されたお座席にご着席ください。また、公演中のお席の移動はご遠慮ください。
- ブラボー等掛け声はお控えください。ホール内では極力会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- チケット購入時には氏名・連絡先の記入にご協力ください。保健所等関係機関からの要請があった場合には、お客様の情報を開示することがあります。



アンケートへのご協力をお願いいたします

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEBにて感想をお聞きしています。
下記QRコードよりアンケートのご協力をお願いいたします。



演奏会をお楽しみいただくために

演奏中は携帯電話・スマートフォンや時計のアラームなど音を発する機器の電源はお切りください。また手荷物・傘・チラシ類などの物音、話し声などでほかのお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。また、録音、録画、写真撮影は固くお断りいたします。



写真撮影・録音・録画
はご遠慮ください



会場内での飲食は
ご遠慮ください



演奏中の私語は
ご遠慮ください



携帯電話・スマートフォンの
電源はお切りください。



演奏後の早すぎる拍手は
お控えください。

名古屋市文化振興事業団ふんしんパートナーシップ公演

名古屋昭和交響楽団 第2回定期演奏会

2021.1.31 ^S_{un.}

指揮

水戸 博之

—「今、音楽が語ること」—

16:00 開演 15:15 開場

名古屋市昭和文化小劇場ホール

チャイコフスキー 交響曲第5番 小短調作品64
ビゼー 「カルメン」 第1組曲・第2組曲より抜粋
ロッシーニ 歌劇「セビリアの理髪師」序曲

楽譜協力：トヨタミュージックライブラリー

主催：名古屋昭和交響楽団



名古屋市文化振興事業団「昭和文化小劇場」

ふんしんパートナーシップ
NAGOYA

ごあいさつ

本日は、ご多忙の中、名古屋昭和交響楽団第2回定期演奏会 - 「今、音楽が語ること」 - にご来場いただき誠にありがとうございます。皆様からの大きなご支援により、本日、第2回定期演奏会を開催することができました。今日という日が迎えられましたのも皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

名古屋昭和交響楽団は2019年7月に昭和文化小劇場を拠点に地域にオーケストラの魅力や音楽の楽しさを伝えるために発足しました。団員は10代～70代の約70名が参加し、演奏活動に励んでいます。

2020年3月には第1回定期演奏会を開催しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により無観客でのオンライン開催となりました。本日は初めてのお客様をお迎えするコンサートに向けて、団員一同、限りある時間を使い、本日のプログラムに思いを込め、練習してきました。これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮し、皆さまに演奏を楽しんでいただければ幸いです。

最後になりますが、本日まで熱心にご指導をいただきました客演指揮の水戸博之先生、客演コンサートマスターの平光真彌先生、オーケストラトレーナーの岡田望先生ならびに名古屋市文化振興事業団昭和 cultura 小劇場の皆さま及びご支援をいただいております全ての皆さまにこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げますとともに、今後とも名古屋昭和交響楽団の地域に根差した活動を応援いただけますようお願い申し上げます。

名古屋昭和交響楽団 団長 加藤裕文

本日は、名古屋市文化振興事業団ぶんしんパートナーシップ公演「名古屋昭和交響楽団第2回定期演奏会」へのご来場誠にありがとうございます。

昭和 cultura 小劇場では、劇場を誰もが芸術に親しむ場、地域の魅力を発信する場とするための事業展開を図っています。「名古屋昭和交響楽団」の皆さまの定期演奏会を始めとする演奏活動を支援する、「名古屋市文化振興事業団ぶんしんパートナーシップ」制度もその1つで、今年2年目を迎えました。

昨年の第1回定期演奏会は、コロナ下で無観客のライブ配信が行われました。今回の第2回も多くの皆さまにご来場いただいたかったところを定員の半分にするなど、その影響からは免れ得ません。しかし日々の練習を、制約の多い中感染拡大防止に努めながら進めてこられた名古屋昭和交響楽団さまのご尽力のもと、皆さまにご入場をいただいての、開催となり胸を撫でおろしております。

今年度は、計画をしておりました昭和区内の病院や福祉施設へのアウトリーチ活動も残念ながら中止となりました。「名古屋昭和交響楽団」は、演奏活動を通じて文化芸術が活きるまちづくりに貢献することを目的として活動しております。

新型コロナウイルス感染拡大が収束した際には、様々な場所で様々な方々に音楽を届ける機会を増やしていきたいと考えております。

これからの、名古屋昭和交響楽団と昭和 cultura 小劇場の活動に注目していただければ幸いです。

それでは、第2回定期演奏会を最後までごゆっくりお楽しみください。

名古屋市昭和 cultura 小劇場 館長 森川治朗

PROGRAM

2021年1月31日（日）16：00 昭和 cultura 小劇場ホール

指揮：水戸博之 コンサートマスター：平光真彌 管弦楽：名古屋昭和交響楽団

ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」序曲
Rossini：Il The Barber Of Seville - Overture

ビゼー：「カルメン」第1組曲・第2組曲より抜粋
Bizet：Carmen Suite No.1 and 2(Excerpts)

チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調作品64
Tchaikovsky：Symphony No 5 in E minor, Op 64

指揮 水戸博之

北海道出身。東京音楽大学、及び同大学大学院作曲指揮科（指揮）を卒業。これまでに指揮を山上淳一、汐澤安彦、田代俊文、加納明洋、三河正典各氏に、ピアノを奥山優香、北島公彦、米田栄子、野田清隆各氏に、音楽理論を伊左治直氏に師事。在学中、サントリーホール主催レインボウデビューコンサート21に出演。千葉県東総文化会館「東総の第九」にて東京音楽大学シンフォニーオーケストラを指揮。また、井上道義指揮者講習会にて優秀者に選拔され、入賞者によるリレーコンサートにてオーケストラアンサンブル金沢、金沢大学管弦楽団を指揮。

これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団などに客演。副指揮として日生劇場、藤原歌劇団のオペラ公演に参加する他、新国立劇場合唱団、東京混声合唱団の合唱指揮を務める。現在、オーケストラトリプティック常任指揮者、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス、八王子ユースオーケストラ副指揮者。NHK交響楽団より2016年度のパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、同団の公演に携わる。



コンサートマスター 平光真彌

岐阜県立加納高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。2005年、同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、Ewald Danel、服部芳子の各氏に師事。指揮を紙谷一衛氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。併せて、聴衆賞、オーナー賞も獲得。2007年2010年及び2012年、小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風音楽賞」受賞。2012年には講師特別賞も同時受賞。これまでにソリストとして、多数の協奏曲をオーケストラと共演。在学中、2000年から岐阜管弦楽団、2004年から愛知室内オーケストラのコンサートマスターを務める他、神戸室内合奏団、中部フィルハーモニー交響楽団などの客演コンサートマスターを務める。愛知県立芸術大学非常勤講師。



オーケストラトレーナー 岡田望

名古屋芸術大学器楽科（トランペット専攻）卒業。同大学研究生修了。トランペットを星順治、亀島克敏、栃本浩規の各氏に師事。古楽器奏法を竹本義明、マイケル・レアードの各氏に師事。チャールズ・シュルター、ジョゼフ・ドキシ、ジェームス・トンプソンのマスタークラスを受講。大学在学中より、NPO法人中部フィルハーモニー交響楽団に在籍し、14年間オーケストラプレイヤーとして活動する。2013年、同団を退団。

演奏活動と同時に、指揮法、スコアリーディングを古谷誠一、稲垣雅之の両氏に師事し、コンクールバンドから市民オーケストラまで数多くの団体のトレーニングコンダクターを歴任している。

基礎理論と自身の演奏経験に基づいた指導が評価され、幅広いジャンルのトレーナーとして音楽活動の場を拡げている。



本公演の指揮者、水戸博之が書き下ろしたプログラムノートをQRコードからご覧いただけます。

※紙でのご提供をご希望のお客様はスタッフまでお申し付けください。